



2024年7月25日

各 位

会 社 名 株式会社テリロジーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 達
(コード番号 5133 東証スタンダード市場)

問合せ先

役職・氏名 取締役副社長執行役員グループ経営本部長 廣谷慎吾

電 話 03-3237-3437

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、コーポレート・ガバナンスコードで実施が要請されている当社取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

I. 評価の方法

- (1) 対象者：取締役・監査役 8名
- (2) 実施期間：2024年4月26日～2024年5月25日
- (3) 回答方法：【アンケート方式】
 - ・全25項目に対し、5段階評価
 - ・評価理由や意見等を必要に応じて自由欄に記載

II. 2023年度の実効性に関する評価の結果（概要）

アンケートの分析・評価結果の概要は、以下の通りとなりました。

① 取締役会の役割・機能について

取締役会の役割・機能については、取締役会自身の目指すべき姿や方向性を理解した上での議論がなされており、実効性が確保されていると評価されました。一方で、次世代を担う経営幹部の育成、女性管理職の育成・登用についても具体的なスケジュールの策定が必要との意見がありました。

② 取締役会の構成・規模について

取締役会の構成・規模については、取締役の人数やスキルバランスは適切に配置されており、社外取締役の役割期待は明確であると評価されました。一方で、多様化の観点で中長期的な目線で議論し共通認識をもつことが望ましいとの意見がありました。

③ 取締役会の運営について

取締役会の運営については、開催頻度や決議・報告項目、及び議論された事項の結果報告が適切に実施され、オープンな議論ができており、全体として実効性が確保されていると評価されました。なお、予算策定やM&A事案など事前に十分な検討が必要な議題が上程される際には、資料回付時期の前倒しが必要との声が上がりました。

④ 監査機関との連携について

監査機関との連携については、全体として実効性が確保されていると評価されました。特に内部通報制度に関しては、社内周知の徹底のみならず通報制度の利用しやすさ向上にも注力しているとの意見がありました。一方で、内部統制の運用状況の報告や株主構成の流動化・多様化の議論を望む声が上がりました。

⑤ 社外取締役との関係について

社外取締役との関係については、全体として実効性が確保されていると評価されました。弁護士・会計士の知見や経験を活かしており、コンプライアンス委員会においても主に法的見地から助言がなされているとの意見がありました。

⑥ 株主・投資家との関係

株主・投資家との関係について、株主からの問い合わせに対し速やかに回答する体制が整っているとの意見がある一方で、当社の業績と株価が連動するよう、経営戦略等を投資家に適切に伝えていく必要があるとの声があり、更なる改善が期待される結果となりました。

⑦ 総括

総括として、昨年度と比較してガバナンス体制の拡充については実効性が確保されていると評価され、規程類の整備・組織改編やガバナンス意識の向上が実効性の拡充に寄与しているとの意見がありました。

Ⅲ. 今後の対応について

当社の取締役会は、上記の分析・評価結果を踏まえ、課題として認識した女性管理職等多様性のある人事登用や取締役会資料の事前配布等の事項については、今後改善に向けた取り組みを行ってまいります。また実効性が適切に確保されていると認められた事項についても、なお一層取締役会の実効性を高めるための取り組みを強化・継続してまいります。

以上